

「道づくりのひみつ」表紙

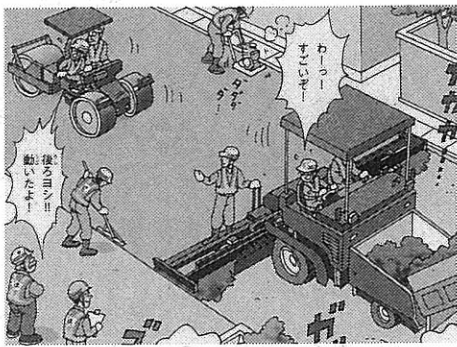
若者の土木離れが進む中、道路の果たす役割や価値について、未来を担う子供たちに早い段階からしっかり伝えようと、NIPPOが昨年11月に発行した「道づくりのひみつ」が、全国の学校や図書館を通じて多くの子供たちに読まれ、「舗装について興味を持てました」、「道路に対する意識(価値観)が変わりました」

「道づくりのひみつ」は、学習漫画として知られている。

監修 NIPPO

### 学習漫画「道づくりのひみつ」が好評

#### 若手技術者への教育材料に最適などの声



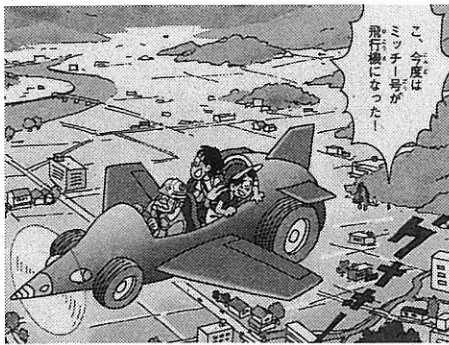
道路工事体験中

館に寄贈された。小学校5年生の俊介と健吾が、道のことを知らずとも知っているドクター老土(ろうど)の案内で、舗装がな

製造過程、最新の舗装技術、東日本大震災からの復興等に触れることで、道路の魅力にどんどん引き込まれていくストーリーとなっており、「舗装」と道路会社の仕事をわかりやすく解説している。とくに秀逸なのが、主人公3人が乗る探検マシン「ミッチー号」。過去のタイムスリップを

始め、飛んで空から道路を俯瞰したり、ドラえもんの世界のように主人公たちもろとも小さくなって、道路の構造をマイクロの視点で観察したりと、読者を飽きさせない。NIPPO管理本部企画部の村田信之専門次長によると、「シナリオは細部にもこだわって、アイデアも含めて自社で執

筆」。読み応えも考慮して漫画の合間に「日本の高速道路の合計の長さは平成23年4月1日現在で約7900キロ」、「日本でこれまで最長の渋滞は、平成7年12月27日の名神(東名高速道路の154キロ)といった『まめちしき』もたっぷり散りばめた。道路関係者からも「部内研修時の参考資料にしたい」、「若手技術者への教育材料に最適」、「今の大学生にうってつけの内容。副教材として講義で活用したい」と内容の充実を称える声が集まっている。



冒険シーン

「道づくりのひみつ」への問い合わせは、NIPPO営業企画部、電話03(3563)6711まで。

た、「日常何気なく当たり前のように利用している道に対し、歴史を知ったことなどで、より親近感を感じました」と制作を誇る感想が多数寄せら

れる「学研まんがでよくわかるシリーズ」の77作品目として発行。平成13年のシリーズ発行開始以来、医療や食品、流通など様々な分野の作品が

くられているが、道路を対象にしたものとしてはこれが初めて。非売品として3万部制作され、全国の小学校2万3500校、公立図書館3000

つた過去の時代へとタイムスリップ。道路の今昔やアスファルトの